

林野庁長官

青山豊久様

要望書

令和6年12月23日

長野市議会新友会

# 要 望 書

平素より本市の行財政運営につきまして、格別なるご指導、ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

本市は長野県の県都として重要な役割を担いながらも、人口減少・少子高齢化など、多くの課題に直面しています。

そのような中、心と体の健康づくりを推進し、市民が支え合いながら地域社会で自分らしく暮らすことができ、心身ともに健康で幸せを実感できる「健幸増進都市・長野」の実現に向けて取り組んでおり、子どもの夢を育むまちづくり・スポーツを軸としたまちづくりを推進しているところです。

そのためには、学校施設環境の改善や、市街地の再開発による賑わいの創出、道路改良による交通渋滞の解消、持続可能な農業政策、子育て支援、災害に強いまちづくり、さらには、第82回国民スポーツ大会の施設整備などの諸課題に迅速かつ積極的に取り組んでいく必要があります。全ての市民が将来にわたり安心して快適に暮らせる社会を目指し、地方創生を進めていかなければなりません。

つきましては、本市の未来を見据えた更なるご支援を賜りたく、ここに要望いたします。

何卒、格段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年12月23日

長野市議会新友会 会長 寺沢 さゆり

# 要 望 事 項

## 1 地域産材の活用や森林・林業の普及啓発に関する国レベルでの広報の充実について

本市では、木材利用促進方針に沿って、低層の公共建築物について使用木材に県産材を指定し、木造化、木質化を図っている。

また、市内の保育園、幼稚園等に県産材のヒノキを使った木のおもちゃを配布する木育事業に取り組んでいる。

さらに、森林環境税の徴収が始まったことから、市民の関心を高めるため、今年度初めて「ながの森林・林業フェア」を開催した。

当日は、多くの皆様に来場いただき、楽しみながらできる様々な体験等を通して、理解を深めていただく良い機会となった。

しかしながら、こうした普及啓発を更に進めるためには、市町村レベルでの広報には限界があることから、地域産材の活用や森林・林業の普及啓発に関する国レベルでの広報の充実を図っていただきたい。